

関市 ICT 推進アクションプラン

2020年（令和2年）3月

1. アクションプランの目的

社会における ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）をめぐる環境は目まぐるしく発展してきました。スマートフォンの急速な普及や情報通信ネットワークの拡大、AI（Artificial Intelligence：人工知能）等の情報化技術の革新により市民生活や企業活動は大きく変化しています。こうした状況において、ICT を効果的に活用した市民サービスの向上や業務の簡素化・効率化の実現を目指すため、関市 ICT 推進アクションプランを策定し取組を推進します。

2. アクションプランの位置づけ

関市第 5 次総合計画における「政策 7 持続可能な行財政運営を行う」「施策 43 情報基盤」のなかで、効果を高める ICT の高度利用を具現化する個別計画として位置づけ、効果的かつ効率的な質の高い行政サービスを提供するための指針とします。

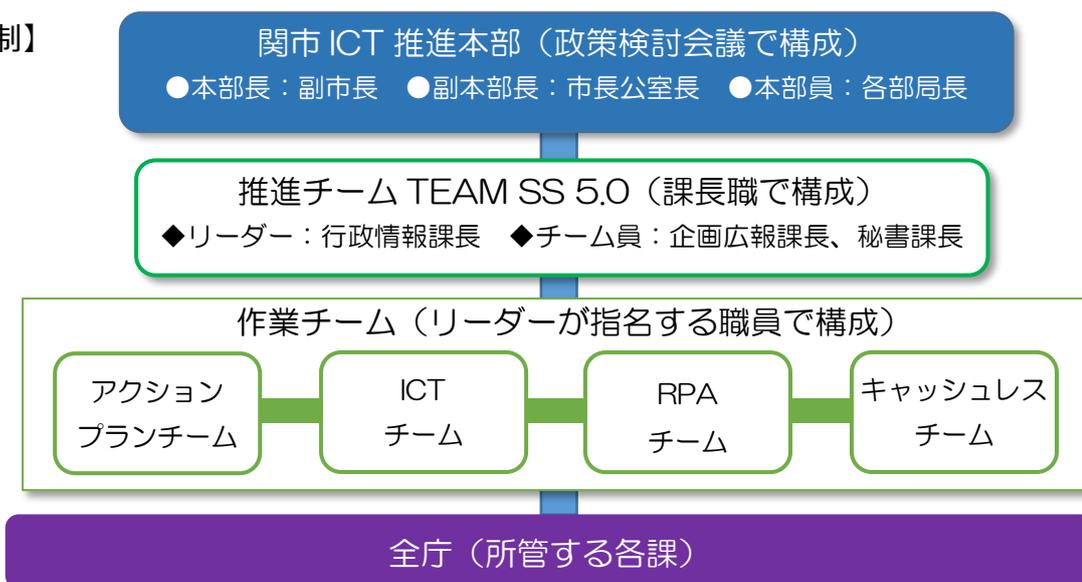
3. アクションプランの実施期間

2020 年（令和 2 年）～2022 年（令和 4 年）の 3 年間

4. アクションプランの推進体制・進捗管理

庁内に関市 ICT 推進本部を設置し、政策検討会議の構成員をもって構成します。また推進本部のもとに関係職員で構成する推進チーム（TEAM SS 5.0）を置き、積極的に推進していきます。なお、推進本部では PDCA サイクルによる事業の進捗管理を行い、必要に応じて見直しをかけていきます。計画に掲げた取組は推進チームと作業チームが中心となって全庁的に推進します。

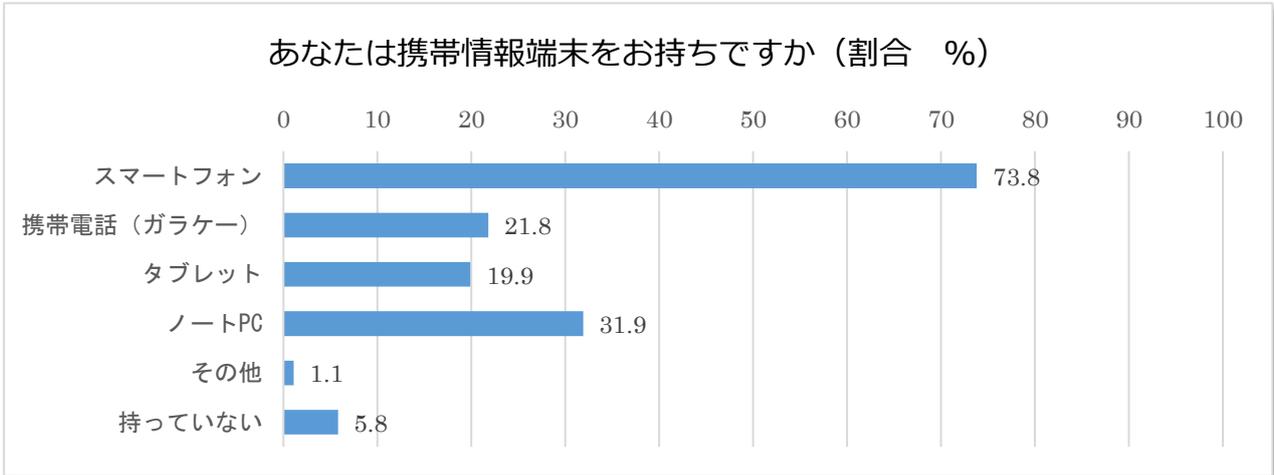
【推進体制】



5. 関市の情報化の状況

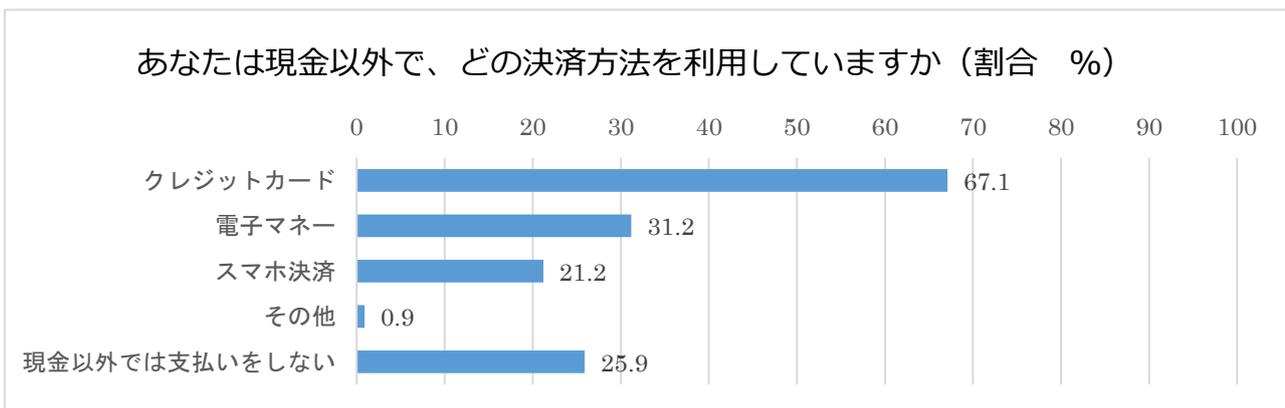
令和元年度市民アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）より、市民の情報化に関する状況は以下のとおりです。（※令和2年1月実施 無作為抽出 回答数1319件）

◆利用している情報端末機器



- ・スマートフォンが最も多く74%の方が持っている。
- ・情報端末を持っていない方が6%ほどおり、情報の提供方法について検討の必要がある。
- ・今後スマートフォンを所有する方は、ますます増えることが予想されている。
- ・スマホアプリを主軸としたサービスの提供が今後は必要となってくる。

◆キャッシュレスの状況



- ・クレジットカードが最も多く3人に2人（67%）は利用している。
- ・電子マネーやスマホ決済の利用は20～30%にとどまっているが、今後は増えていくことが予想されている。
- ・現金以外では支払いをしない人が、全体の4分の1ほどいる。
- ・現時点ではキャッシュレス決済のニーズはそれほど高くはないが、将来は増えると思われる。
- ・スマホの利用者の増加を見込み、今後はスマホ決済の導入を検討していく必要がある。

6. めざす姿とアクションプランの取組

関市第5次総合計画に掲げる持続可能な行財政運営を行うためにICTの活用により、将来的には市内のどこでも快適な情報通信サービスが提供され、ICTを積極的に活用した市民サービスの実現を目指します。

めざす姿 「スマート市役所※の実現」

※「スマート市役所」とは・・・

先端技術で経済発展と社会課題の解決を図る Society5.0 社会に対応するため、AI やIoT などのICT 技術を積極的に活用して、便利で質の高い市民サービスの提供、生産性の高い行政運営などを行うこれからの行政や市役所の姿。

行政サービスを利用される方がスマホやパソコンなどを使って、いつでもどこでも必要な申請手続きを行うことができ、人が移動しなくても支払や受取などが完遂できる仕組みを整備していきます。

またICTの高度利用によって地域における教育、医療、交通、農林業、流通などといった社会課題を解決していきます。市役所内では業務や会議を効率化し業務工程の簡素化などを図るとともに、資料等をデジタル化することでペーパーレス化を進め資源や時間の削減・節約を推進します。

次の2つの基本方針において、それぞれの分野ごとに具体的な事業に取り組みます。

方針1 市民サービスの向上 (26)

(利便性を向上させ、質の高い行政サービスを提供します)

- 窓口サービスの向上 (6)
- 行政サービスの向上 (7)
- 情報提供の充実 (4)
- 教育ICTの推進 (2)
- 地域ICTの活性化 (7)

方針2 業務の簡素化・効率化 (12)

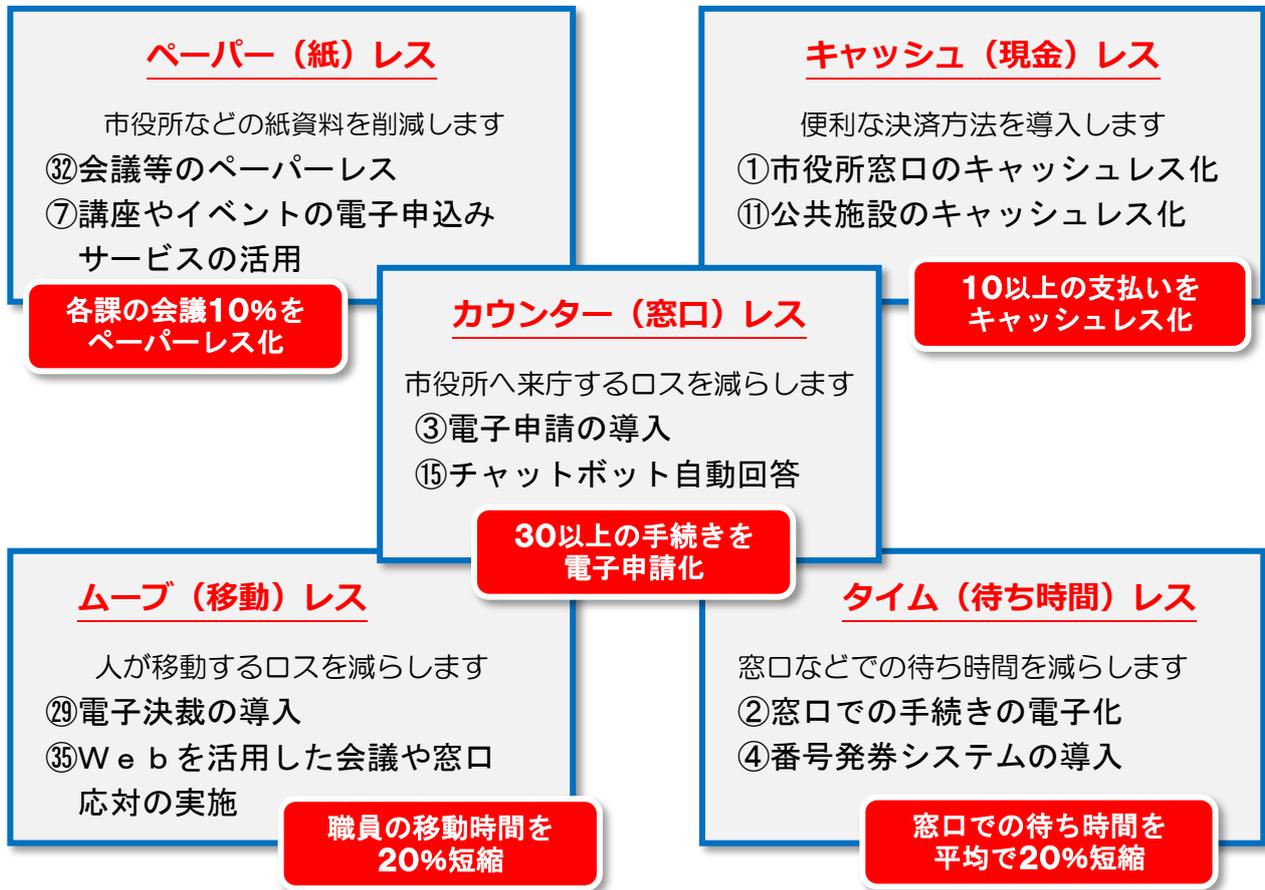
(ICTの活用で業務の簡素化・効率化を図り生産性を向上します)

- 内部業務の効率化 (5)
- 会議等の効率化 (5)
- 人材の育成・連携 (2)

7. スマート市役所を実現するための取組目標

目標1 行政における「5レス」の実施

ICT導入により、5つのレス（ペーパーレス、キャッシュレス、カウンターレス、ムーブレス、タイムレス）を実施し、市民サービスの向上を目指します。



目標2 職員の残業時間の縮減

ICT導入により、業務の簡素化や効率化を図ることで、職員の残業時間の縮減を目指します。



<主な取組事項>

- ②⑦RPAの導入 ②⑧AI-OCRの導入 ③③市役所の庁内Wi-Fiの整備
③⑥サーバ増設によるデータの庁内共有 ④⑧保育園業務支援アプリの導入

8. アクションプランの取組（体系）

市民サービスの向上（利便性を向上させ、質の高い行政サービスを提供します）	
窓口サービスの向上	1 市役所窓口のキャッシュレス化 2 窓口での手続きの電子化 3 電子申請の導入 4 番号発券システムの導入 5 多言語翻訳アプリの導入 6 来庁者向け庁舎案内サービスの導入
行政サービスの向上	7 講座やイベントの電子申込みサービスの活用 8 保育園業務支援アプリの導入 9 子育て世代の医療相談アプリの導入 10 子ども見守りシステムの導入 11 公共施設のキャッシュレス化 12 インバウンド向けのA I 翻訳機の導入 13 IoT を活用した観光データの分析
情報提供の充実	14 L I N E での情報発信 15 チャットボットによる自動回答サービス 16 オープンデータの活用 17 広報せきの動画配信
教育 I C T の推進	18 小中学校・高校のタブレット端末の整備 19 電子黒板（プロジェクター型）の活用
地域 I C T の活性化	20 ドローンを活用した災害等への対応 21 シェアバイクの整備 22 スマート農業の推進 23 自動運転技術の実証 24 M a a S（モビリティ・アズ・ア・サービス）の実証 25 民間企業への I o t 導入支援 26 高齢者向けスマホ教室
業務の簡素化・効率化（ICTの活用で業務の簡素化・効率化を図り生産性を向上します）	
内部業務の効率化	27 R P A の導入 28 A I - O C R の導入 29 電子決裁の導入（総合行政システム） 30 A I を活用して特定健康診査の受診率を向上 31 マンホールポンプのスマホ通報システム導入
会議等の効率化	32 会議等のペーパーレス 33 市役所の庁内W i - F i の整備 34 公共W i - F i の整備 35 W e b を活用した会議や窓口対応の実施 36 サーバの増設によるデータの庁内共有
人材の育成・連携	37 職員向け I C T 研修 38 企業との連携

9. アクションプランの取組項目

市民サービスの向上

① 市役所窓口のキャッシュレス化

- ・市役所の窓口で支払う手数料や使用料などについてキャッシュレス決済を導入します。
- ・窓口での証明書などの発行手数料のキャッシュレス化から検討します。
- ・段階的に貸館の使用料に導入するなど、全庁的な取組を展開します。
- ・対象者や費用対効果などを考慮して計画的に導入を進めます。

※令和元年10月から市県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国保税、上下水道料金についてスマホ決済（PayB 楽天銀行 LINE Pay）を導入済み。

担当課 税務課、市民課、行政情報課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		

② 窓口での手続きの電子化

- ・窓口での手書きの申請書類などについて、OCRを活用して手書きされた内容を電子化することで窓口業務の効率化や利用者の負担軽減を図れるよう検討します。
- ・タブレット端末に専用ペンで直接書き込んだり免許証等をスキャンして、申請者が用紙に手書きすることなく申請書を作成できるサービスの導入も併せて検討します。
- ・電子データ化した情報を既設の総合行政システムに反映させることが課題です。

担当課 市民課、税務課、行政情報課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	

③ 電子申請の導入

- ・市役所へ来庁することなく、スマホやパソコンを利用していつでもどこでも行政手続きなどの申請ができる仕組みの導入について検討します。
- ・マイナンバーカードを利用して、電子申請できるサービスを拡充します。
- ・対象者数や申請者数、費用対効果などを考慮して導入を進めます。

※すでに児童手当や予防接種費用助成、保育、児童扶養手当など23項目について、マイナンバーカードを使つての電子申請を導入済み。

担当課 企画広報課、行政情報課、窓口担当の各課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実証	実施

④ 番号発券システムの導入

- ・確定申告など受付の順番待ちをスムーズにお知らせする発券システムを導入します。
- ・確定申告に訪れた方にQRコード付きの番号券を発行し、窓口付近にいなくても自分のスマホからQRコードをかざすと混雑状況や順番を知ることができます。
- ・実証的に確定申告の受付において試験的に導入し、効果を検証します。

担当課 税務課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		

⑤ 多言語翻訳アプリの導入

- ・市役所の窓口において、多言語に対応した音声翻訳アプリの導入を検討します。
- ・通訳員が不在のときでも外国人の来庁者とのコミュニケーションをスムーズに行うことができます。
- ・多言語に対応しているため、どの国の方でも対応が可能となります。

担当課 市民協働課、窓口担当の各課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実施	

⑥ 来庁者向け庁舎案内サービスの導入

- ・来庁者が目的別に担当窓口を検索できる案内サービスを導入します。
- ・タブレット端末を利用して、来庁の目的から検索して担当窓口を知ることができます。
- ・音声認識機能やチャットボット機能を活用して、より便利で分かりやすい方法を検討します。

担当課 管財課 行政情報課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	

⑦ 講座やイベントの電子申込みサービスの活用

- ・市が主催する講座、教室やイベントなどの参加について、スマホやパソコンから申込みができるサービスを活用します。
- ・特に若い世代を対象とした事業で電子申込みを推進します。

担当課 企画広報課、行政情報課、担当の各課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実証	実施

⑧ 保育園業務支援アプリの導入

- ・ 保育園において保護者への連絡帳、お便りやスケジュール管理など日々の連絡業務などを効率化する保育園業務支援アプリの導入を検討します。
- ・ 利用者の利便性に加え、保育士の負担軽減につながるような仕組みづくりを検討します。
- ・ 本格導入を前に、モデル保育園において実証実験を行います。

担当課 子ども家庭課、保育園、行政情報課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		
→			

⑨ 子育て世代の医療相談アプリの導入

- ・ 医療相談アプリを利用して子育て世代の健康不安軽減を図ります。
- ・ 遠隔で医師への医療相談ができることで、不要不急の受診の減少や適正な医療受診につながることを期待できます。
- ・ 妊婦から6歳児（未就学児）までが属する世帯を対象とし、同世帯4人までの相談ができます。
- ・ 令和2年度は実証実験を行って効果などを検証したのち、令和3年度からの本格導入について検討します。

担当課 市民健康課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	
→			

⑩ 子ども見守りシステムの導入

- ・ 専用端末で位置情報を確認できる子ども見守りサービスを試験的に導入しています。
- ・ 端末機を持った子どもが、いまどこにいるか、そのルートを通ったかなどの情報を、保護者のスマホなどで確認することができます。
- ・ 市内の一部の小学校PTAを対象に、希望者に提供しています。
- ・ 期待された効果が得られた際には全市的な導入を検討します。

担当課 学校教育課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		
→			

⑪ 公共施設のキャッシュレス化

- ・市役所本庁舎以外の公共施設等において、キャッシュレス化を推進します。
- ・関シティターミナル駐車場の料金徴収機器についてキャッシュレス化を図ります。
- ・交通系ICカードやクレジットカードでの料金精算が可能となり、利便性が高まります。
- ・今後、市内のスポーツ施設や観光施設、コミュニティ施設等での支払いについてもキャッシュレスの導入を検討していきます。

担当課 都市計画課、公共施設の担当課

●	市民サービス	○	業務の効率化
---	--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実施	

⑫ インバウンド向けのAI翻訳機の導入

- ・AI翻訳機や翻訳アプリを関鍛冶伝承館に導入します。
- ・外国人観光客への説明などをよりスムーズに行うことができます。
- ・多言語に対応しているため、きめ細かな対応が可能となります。

担当課 観光課

●	市民サービス	○	業務の効率化
---	--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		

⑬ IoTを活用した観光データの分析

- ・スマホなどを活用して観光客の動態情報などを分析し、今後の観光戦略やプロモーションなどに活用します。

担当課 観光課

●	市民サービス	○	業務の効率化
---	--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		

⑭ LINEでの情報発信

- ・コミュニケーションアプリLINE（ライン）を活用して防災・行政情報を発信します。
- ・特に若い世代や子育て世代向けの情報について、LINEによる発信を実施します。
- ・セグメント配信機能やリッチメニュー機能などを活用します。
- ・あんしんメールプラスとの機能連携について検討します。
- ・情報を発信する各課から直接操作できる仕組みを検討します。

担当課 企画広報課、子ども家庭課、市民健康課
危機管理課

●	市民サービス	○	業務の効率化
---	--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実施			

⑮ チャットボットによる自動回答サービス

- ・チャットボットを活用して、お客様からの質疑応答に対応します。
- ・簡単な質問であれば、職員が答えることなく正しい回答をすることが可能となります。
- ・電話による職員の応答の回数が減ることで、職員の事務的負担の減少が期待できます。
- ・利用者の利便性の向上とあわせて、費用対効果などの検証が必要です。

担当課 行政情報課、企画広報課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実証	実施

⑯ オープンデータの活用

- ・行政の所有するビッグデータを、民間も含め二次的に活用する試みです。
- ・「清流の国データヘルス推進事業」において実証的に実施します。
- ・地域診断による高齢者の健康データをオープン化し、分析して今後の政策に活用します。

担当課 高齢福祉課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		

⑰ 広報せきの動画配信

- ・広報せきの紙面にQRコードを掲載し、動画配信サイトへリンクさせます。
- ・広報せきの記事をより分かりやすく伝えるため、動画により情報発信します。

担当課 企画広報課

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	実施		

⑱ 小中学校・高校のタブレット端末の整備

- ・ICT教育やプログラミング教育の推進のため、小中学校にタブレット（パソコン）端末を整備します。
- ・学校内のネットワーク環境整備もあわせて実施します。
- ・関商工高校においてもネットワーク環境を計画的に整備します。

担当課 学校教育課、関商工高校

<input checked="" type="radio"/>	市民サービス	<input type="radio"/>	業務の効率化
----------------------------------	--------	-----------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		

⑱ 電子黒板（プロジェクター型）の活用

- ・ 関商工高等学校において普通教室でプロジェクター型電子黒板の活用を検討します。
- ・ 市内小中学校においては、これまでに導入済みの電子黒板を計画的に更新します。

担当課 関商工高校、学校教育課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		

⑳ ドローンを活用した災害等への対応

- ・ 全国でも先進的な取組として、関市消防団ドローン隊を結成しています。
- ・ 水難事故発生時の捜索活動に出動し、上空からの捜索を行います。
- ・ 大規模な災害が発生した場合、上空からの画像によって、人が入れない箇所などの被害状況を確認することができます。
- ・ 今後、ドローンを活用した道路や施設の点検作業なども検討していきます。

担当課 危機管理課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実施			

㉑ シェアバイクの整備

- ・ GPS搭載の自転車により位置情報を管理できるレンタルサイクルを導入します。
- ・ 空き状況や予約はスマホで行い料金支払いは交通系ICカードなどの利用を予定しています。
- ・ 刃物ミュージアム回廊などを核としたエリア設定で回遊性の向上を図ります。
- ・ 利用者のデータをもとに分析を行い、観光戦略の資料として活用します。

担当課 観光課、都市計画課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	

② スマート農業の推進

- ・ ICTを活用したスマート農業を積極的に推進します。
- ・ 農家と民間企業との意見調整や事業化に向けてのサポートを行います。
- ・ 導入に関する国や県の補助金や交付金などを研究します。
- ・ モデル的に実証実験を行い、効果を測定しながら横展開していきます。
- ・ 第1次産業における課題などの解決につながるようなICTの導入を目指します。

担当課 農林課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実証	実施

③ 自動運転技術の実証

- ・ 自動運転技術を備えたスマートモビリティの導入を目指し、市内で実証実験を行います。
- ・ 先進的な大学等の研究機関と連携して社会実装実験を行います。
- ・ 本市の地域特性にあったスマートモビリティの導入を目指して、研究を進めます。

担当課 都市計画課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証		

④ M a a S (モビリティ・アズ・ア・サービス) の実証

- ・ ICTを活用して交通をクラウド化し、さまざまなサービスとつなぐM a a Sの導入について研究していきます。
- ・ 行きたい観光地とそこに行くための交通手段を1つのアプリで検索・予約・決済できるサービスについて、導入に向けて実証を行います。

担当課 都市計画課、観光課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実証	

②⑤ 民間企業の Iot 導入支援

- ・市内の企業が Iot 設備等を導入する際の支援を行います。
- ・ Iot 導入補助として、Iot・IT 研修費やアドバイザー招へいにか係る費用、設備や機械装置など設置や改修に係る経費を補助します。
- ・ Iot 導入セミナーを開催し、企業の取り組みを推進します。

担当課 商工課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	実施		
→			

②⑥ 高齢者向けスマホ教室

- ・携帯電話事業者などと連携して、高齢者向けのスマホ教室を開催します。
- ・身近な地域での開催により、できるだけ多くの方の参加を促進します。
- ・基本的な操作方法を習得することで、行政サービスの提供や情報の享受が推進されます。
- ・地域委員会やアクティブシニアの事業なども活用して展開します。

担当課 高齢福祉課、行政情報課、企画広報課

●	市民サービス	業務の効率化
---	--------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		
→			

業務の簡素化・効率化

⑳ RPAの導入

- ・単純なパソコン業務を自動で行うソフト（RPA）を導入し、業務の生産性を向上させます。
- ・本格導入に先駆けて実証導入を行い、効果や課題などを検証します。
- ・手作業とRPAとの作業比較を行い、効果測定を実施します。
- ・本格的な導入は令和2年度から、庁内の3種類程度の業務で実施します。

担当課 行政情報課、所管する各課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		
→			

㉑ AI-OCRの導入

- ・手で書かれた書類をスキャナーで読み取って手書きの内容を電子データに変換します。
- ・電子化された情報は、RPAを使って既存のシステムに自動で入力させます。
- ・識字率を向上させるために高度なAI機能をもつOCRを導入します。
- ・RPAと同様に実証実験を行い、効果の測定や課題の検証をします。
- ・本格的な導入は令和2年度から、庁内の3種類程度の業務で実施します。

担当課 行政情報課 所管する課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		
→			

㉒ 電子決裁の導入（総合行政システム）

- ・これまで紙に記入押印していた決裁書類を電子決裁化し、業務の効率化を図ります。
- ・総合行政システムの庶務事務システムを導入し、「時間外勤務申請」「休暇承認申請」について、紙を使わずパソコン上で決裁行為を完結させます。
- ・令和元年度中に実証し、令和2年度中に本格的に導入します。

担当課 秘書課、行政情報課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
実証	実施		
→			

③⑩ AI を活用して特定健康診査の受診率を向上

- ・ AI を活用して対象者の受診歴やレセプト情報等を分析し、その人の行動変容に結びつくような内容のはがきを作成して送付します。
- ・ 市の健診受診に関する傾向と対策の分析を多角的に行い、次の対応へ反映します。
- ・ 多くの方の健康状態をより効率的に把握でき、予防や対策によって医療費の抑制につなげることができます。

担当課 保険年金課

<input type="radio"/>	市民サービス	<input checked="" type="radio"/>	業務の効率化
-----------------------	--------	----------------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	実施		
→			

③⑪ マンホールポンプのスマホ通報システムの導入

- ・ マンホールポンプが故障の時は、これまで電話回線を経由して F A X で本庁や事務所に通知が送信されていましたが、インターネット回線を介して業者のパソコンや担当者のスマホにメール通知されるシステムの導入を検討します。
- ・ いち早く故障を把握でき、特に休日・夜間において早期の対応が可能となります。

担当課 下水道課

<input type="radio"/>	市民サービス	<input checked="" type="radio"/>	業務の効率化
-----------------------	--------	----------------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		
→			

③⑫ 会議等のペーパーレス

- ・ 中濃地域広域行政事務組合の介護認定審査会における介護認定調査の資料を電子データ化し、デジタルペーパーを利用して介護認定審査業務を行い電子データでやりとりする仕組みにより、ペーパーレス化を実施します。
- ・ 税務課の金融機関への照会作業を電子データ化してメール送信し、事務の効率化を図ります。
- ・ 紙を使わず、パソコンやタブレット端末で庁内会議の資料を提供します。
- ・ 庁内会議のなかでは、最高幹部会議や政策検討会議で実証実験します。最高幹部にタブレット端末を貸与してペーパーレスを推進します。
- ・ 情報の取扱いやセキュリティについてはさらなる検討を要します。

担当課 高齢福祉課、税務課、秘書課、行政情報課、各地域事務所

<input type="radio"/>	市民サービス	<input checked="" type="radio"/>	業務の効率化
-----------------------	--------	----------------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	
→			

③ 市役所の庁内Wi-Fiの整備

- ・市役所の庁内に職員向けの無線LANを整備します。
- ・インターネット回線のWi-Fiを整備して、タブレット端末で利用します。
- ・庁内の会議などにおいて活用することで、ペーパーレスやインターネット検索など、会議に関する業務効率化を図ります。

担当課 行政情報課、秘書課

<input type="checkbox"/>	市民サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の効率化
--------------------------	--------	-------------------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	

④ 公共Wi-Fiの整備

- ・観光客やインバウンド対策として主要施設に公共Wi-Fiを整備します。
 - ・無線LANの種類を市内で統一するよう調整します。
 - ・特に温泉施設や道の駅など、観光施設において公共Wi-Fiを順次整備します。
(市内の各温泉、各道の駅、刃物ミュージアム回廊、本町にぎわい横丁 ほか)
- ※関鍛冶伝承館、小瀬鶉飼・鮎ノ瀬の里、関シティーターミナルは整備済み

担当課 観光課、都市計画課、行政情報課

<input type="checkbox"/>	市民サービス	<input type="checkbox"/>	業務の効率化
--------------------------	--------	--------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	検討	実施	

⑤ Web動画を活用した会議や窓口対応の実施

- ・タブレット端末を活用して、本庁と事務所、保健センターと各地域保健センターなど、遠隔地においてWeb会議(テレビ会議)を実施します。(各課の担当者会議、職員向けの説明会、職員研修、福祉総合相談室でのケース診断会議 など)
- ・Web動画を利用して、お客様の窓口での対応や手話通訳などを実施します。
- ・セキュリティーなど情報管理なども検討していきます。

担当課 行政情報課 企画広報課 秘書課 ほか

<input type="checkbox"/>	市民サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の効率化
--------------------------	--------	-------------------------------------	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実証	実施	

③⑥ サーバの増設によるデータの庁内共有

- ・ 庁内のサーバを増設し、画像など容量の大きなデータを全職員で共有できるフォルダを整えます。
- ・ 必要なデータの効率的な利用が可能となります。
- ・ 将来的には、全庁的なデジタルアーカイブ書庫の整備なども検討していきます。

担当課 行政情報課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
	実施		
→			

③⑦ 職員向け I C T 研修

- ・ 市の職員を対象とした I C T 研修を実施します。
- ・ 民間企業との連携により講師を派遣してもらうことで、常に新しい情報を収集し、技術習得などもできます。
- ・ 研修によってセキュリティーやリテラシーの向上を図ります。

担当課 行政情報課、秘書課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		
→			

③⑧ 企業との連携

- ・ I C T 推進に際して民間企業との連携を推進するため、連携協定を締結します。
- ・ 最新技術や先進事例の情報収集、人材育成のための講師派遣や、市民向け講座の開催など、企業の持つノウハウを活用します。
- ・ 新たなサービスの開発など、 I C T を活用した社会課題の解決について企業と共同で研究します。

担当課 行政情報課、企画広報課、秘書課

市民サービス	●	業務の効率化
--------	---	--------

R 1	R 2	R 3	R 4
検討	実施		
→			

関市 I C T 推進アクションプラン

2020年3月

関市 I C T 推進本部

(TEAM Seki Society 5.0)